



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社マーケットエンタープライズ 上場取引所 東
 コード番号 3135 URL <http://www.marketenterprise.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 泰士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 今村 健一 (TEL) 03-5159-4060
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	2,870	10.5	163	△4.2	160	△6.2	84	△9.4
2020年6月期第1四半期	2,598	50.1	171	683.9	170	699.4	92	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 100百万円(△10.9%) 2020年6月期第1四半期 112百万円(899.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	16.12	15.30
2020年6月期第1四半期	17.86	16.92

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,746	1,729	40.8
2020年6月期	4,023	1,625	35.8

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 1,526百万円 2020年6月期 1,440百万円

四半期連結財政状態に関する注記

四半期連結業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	23.8	730	11.3	733	10.4	360	23.4	68.88
	~14,500	~33.0	~900	~37.2	~903	~36.0	~450	~54.3	~86.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年6月期1Q	5,226,400株	2020年6月期	5,226,400株
2021年6月期1Q	315株	2020年6月期	286株
2021年6月期1Q	5,226,087株	2020年6月期1Q	5,207,598株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当第1四半期連結累計期間における経済情勢

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大による企業の経済活動、個人の消費活動双方の縮小により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化いたしました。政府による緊急事態宣言の解除後は、徐々に回復の兆しがみられてはいるものの、感染症の再拡大が懸念され、引き続き厳しい経済環境が続いております。

また、個人消費につきましては、従前より引き続き節約志向や低価格志向が基軸となりながらも、その動向は必ずしも節約・低価格の一面倒なものではなく、個人の価値観や嗜好性に応じたメリハリのある消費スタイルが徐々に浸透し、その消費行動の多様化は加速しております。

そのような社会環境下、当社グループは多様化する消費行動や賢い消費を求める消費者に対し、その人にとって最適な消費の選択肢を提供する「最適化商社」をビジョンに掲げ、その実現に向けた事業を展開しております。

② 当第1四半期連結累計期間における業績の概況

当社グループでは「持続可能な社会を実現する最適化商社」を目指し、多様化する消費行動や様々な消費スタイルに対し、個人、そして一部の商品・サービスにおいては法人にまでその枠を広げ、インターネットを通じて最適な消費の選択肢を提供するべく事業を推進しております。具体的には新たな仕入・販売チャネルの開拓やインターネットメディアの運営、効率的なWebマーケティング活動など、各事業セグメントにおいてサービスの拡充を行ってまいりました。一方、前期より引き続き業務のオートメーション化やユーザビリティの向上等、社内業務改善・業務効率の向上を進めてまいりました。また、更なる業容拡大に向けたIT開発力の強化を目的に、2020年5月にベトナムにオフショア開発拠点として連結子会社を設立、さらに新設した連結子会社2社においては近年注力している農機具関連の事業買収を実施するなど、今後のさらなる成長に資する積極的な投資を実施してまいりました。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ネット型リユース事業は利益面で大きく伸長したものの、メディア事業及びモバイル通信事業においては、前期第4四半期に発生した通信環境整備に関する需要が一巡し収益が悪化したことにより、売上高は2,870,143千円（前年同期比10.5%増）、営業利益は163,973千円（前年同期比4.2%減）、経常利益は円高進行に伴う為替差損の計上を背景に160,110千円（前年同期比6.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84,236千円（前年同期比9.4%減）となりました。

③ セグメント別の概況

・ネット型リユース事業

当セグメントでは、販売店舗を有しないインターネットに特化したリユース品の買取及び販売に関するサービスを展開しており、当社グループの基幹事業であります。

買取においては「高く売れるドットコム」を総合買取サイトの基軸とし、商品カテゴリー別に分類された複数の買取サイトを自社で運営しております。販売では、「ヤフオク!」はじめ、「楽天市場」「Amazon」、自社ECサイト「ReRe(リリ)」など複数サイトへ同時出品し、インターネットを通じて商品を販売しております。また、主に「大型」「高額」「大量」といった、CtoC(個人間取引)では梱包や発送が難しい商品を取扱い、CtoBtoCというプロセスで当社が取引に介入することで、品質担保をはじめ、リユース品の売買に対して顧客に安心感を提供しております。また、近年M&Aによって取得したリユースプラットフォームである「おいくら」や、農機具輸出事業を本格化させるなど、既存事業とのシナジーを活かして事業の多角化に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、業務プロセスのIT化・標準化を実施し、その中でも、不透明な外部環境を勘案した商品買取のためのインターネット広告運用の効率化に主眼をおいて事業展開を実施してまいりました。また、近年注力している法人向け大型商材である農機具においては、2020年4月に新設した連結子会社株式会社MEトレーディングを中心に、越境EC(海外の顧客を相手にインターネットサイトを通じた国際的な電子商取引)および国内における中古農機具の買取・販売を強化いたしました。さらに、全国のリサイクルショップが加盟するリユースプラットフォーム「おいくら」では、マッチング精度向上に向けた継続的なシステム開発を実施し、2020年7月より自社買取では対応が難しい案件の本格送客を開始しております。

これらの結果、利益面における費用対効果を意識した広告運用に伴い、既存取扱い商品の中で利益率が低い商品の取扱量が低下したものの、注力分野である農機具の買取・販売が伸長したことが奏功し、売上高1,665,897千

円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益228,169千円（同36.9%増）となりました。

・メディア事業

当セグメントでは、賢い消費を求める消費者に対し、その消費行動に資する有益な情報をインターネットメディアで提供するサービスを展開しており、以下の8つのメディアを運営しております。

- ・モバイル通信に関するメディア : 「iPhone格安SIM通信」、「SIMチェンジ」
- ・モノの売却や処分に関するメディア : 「高く売れるドットコムMAGAZINE」、「おいくらマガジン」
- ・モノの購入に関するメディア : 「ビギナーズ」、「OUTLET JAPAN」
- ・モノの修理に関するメディア : 「最安修理ドットコム」
- ・中古農機具の買取・販売プラットフォーム : 「中古農機市場UMM」

当第1四半期連結累計期間におきましては、主に2020年5月にGoogle社が実施いたしました検索エンジンにおけるコアアルゴリズム変更の影響を受け、PV（ページビュー）数の伸びが抑えられる形となりました。また、前期第4四半期におけるテレワーク導入企業の増加に伴う通信環境の向上・改善に関する需要の一巡により、モバイル通信に関するメディアからグループ内外への送客による成果報酬型広告の売上が減少いたしました。また、直近で急拡大した当事業における今後の収益体制強化のために、人員を拡充いたしました。

巣ごもり消費の一巡を背景に趣味と出会うメディア「ビギナーズ」など一部メディアでは堅調な推移となったものの、主にモバイル通信に関するメディアの広告収入減少や体制強化に伴う人件費増加を背景に、売上高169,910千円（同19.9%増）、セグメント利益95,811千円（同5.7%減）となりました

・モバイル通信事業

当セグメントでは、連結子会社の株式会社MEモバイルが、通信費の削減に資する低価格かつシンプルで分かりやすい通信サービスを展開しており、主力サービスとして、「カシモ（＝”賢いモバイル”の略称）というブランド名のもと、主にモバイルデータ通信のサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前期第4四半期におけるテレワーク導入企業の増加に伴う通信環境の向上・改善に関する需要の一巡により、新規回線契約の獲得が減少いたしました。

前期第4四半期を中心とした新規回線獲得の伸長による保有回線数の増加により通信料収入は大きく増加したものの、新規回線獲得数の減少を背景にそれに伴う販売奨励金収入が減少したことから、売上高1,086,225千円（同28.6%増）、セグメント利益75,748千円（同9.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産については、前連結会計年度末に比べて276,424千円減少し、3,746,805千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加307,457千円があった一方で、売掛金が581,666千円減少したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末に比べて380,521千円減少し、2,017,321千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少136,163千円、長期借入金の減少110,674千円によるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末に比べて104,097千円増加し、1,729,483千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上84,236千円や非支配株主持分の増加17,164千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の通期連結業績予想につきましては、2020年8月14日に公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,255,622	1,563,079
売掛金	1,283,911	702,244
商品	404,786	400,520
その他	124,662	129,221
流動資産合計	3,068,982	2,795,066
固定資産		
有形固定資産	358,869	378,087
無形固定資産		
のれん	280,910	263,604
その他	33,019	31,232
無形固定資産合計	313,929	294,837
投資その他の資産	281,447	278,813
固定資産合計	954,246	951,738
資産合計	4,023,229	3,746,805
負債の部		
流動負債		
買掛金	370,379	321,178
1年内返済予定の長期借入金	464,952	459,388
未払金	209,729	178,303
リース債務	14,974	27,778
未払法人税等	164,164	28,001
賞与引当金	—	14,049
受注損失引当金	501	107
その他	281,905	191,047
流動負債合計	1,506,607	1,219,854
固定負債		
長期借入金	859,747	749,073
リース債務	21,887	37,399
その他	9,601	10,994
固定負債合計	891,236	797,467
負債合計	2,397,843	2,017,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	306,797	306,797
資本剰余金	286,437	286,437
利益剰余金	851,014	939,265
自己株式	△394	△464
株主資本合計	1,443,854	1,532,034
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,853	△5,101
その他の包括利益累計額合計	△3,853	△5,101
新株予約権	1,440	1,440
非支配株主持分	183,945	201,110
純資産合計	1,625,386	1,729,483
負債純資産合計	4,023,229	3,746,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,598,495	2,870,143
売上原価	1,594,794	1,767,000
売上総利益	1,003,700	1,103,143
販売費及び一般管理費	832,486	939,169
営業利益	171,214	163,973
営業外収益		
受取保証料	69	164
保険配当金	130	162
その他	301	399
営業外収益合計	501	726
営業外費用		
支払利息	996	1,282
為替差損	—	3,222
その他	1	84
営業外費用合計	998	4,589
経常利益	170,718	160,110
特別損失		
固定資産売却損	—	844
固定資産除却損	201	—
特別損失合計	201	844
税金等調整前四半期純利益	170,516	159,265
法人税、住民税及び事業税	27,923	22,400
法人税等調整額	30,220	35,464
法人税等合計	58,144	57,865
四半期純利益	112,371	101,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,387	17,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,984	84,236

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	112,371	101,400
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△1,247
その他の包括利益合計	—	△1,247
四半期包括利益	112,371	100,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,984	82,988
非支配株主に係る四半期包括利益	19,387	17,164

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	ネット型 リユース 事業	メディア 事業	モバイル 通信事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,698,820	54,821	844,853	2,598,495	—	2,598,495
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	86,916	—	86,916	△86,916	—
計	1,698,820	141,737	844,853	2,685,411	△86,916	2,598,495
セグメント利益	166,667	101,555	83,839	352,062	△180,848	171,214

(注) 1. セグメント利益の調整額△180,848千円には、セグメント間取引消去9,000千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△189,848千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの重要な変動)

「メディア事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間にSIMCHANGE事業を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの計上額は150,000千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	ネット型 リユース 事業	メディア 事業	モバイル 通信事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,665,897	118,020	1,086,225	2,870,143	—	2,870,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	51,890	—	51,890	△51,890	—
計	1,665,897	169,910	1,086,225	2,922,034	△51,890	2,870,143
セグメント利益	228,169	95,811	75,748	399,729	△235,755	163,973

(注) 1. セグメント利益の調整額△235,755千円には、セグメント間取引消去15,369千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,125千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。